

が逆となった場合、NとSの関係も逆になり、前の場合とは逆方向に回転し橙黄色を現示する。どちら側に回転するかは線輪に流れ込む電流の方向によって定まる。

継電器を動作させ信号現示を変化させる信号制御回路は、場内信号機が機械式で、遠方信号機に単灯型を用いたときは、場内信号機に2位式の腕接触器を取付け、電池箱に電池(10V)をおき、この電源を単灯型の機構内の継電器につなぐ。場内信号機が停止信号の場合は、腕接触器の接点がかぎれているから、継電器には電流が流れず、遠方信号機は橙黄色現示であるが、場内信号機のを反位にして腕木が40°くらい降下すると、腕接触器の接点を閉じるので、線輪に電流が流れ、ガラス保持板を回転して緑色現示となる。

信号機の電源は信号機の下部に器具箱を設け、10V 24Ahの蓄電池を納め、これを酸化銅整流器につなぎ、浮動電池式として使用する。これは蓄電池が放電して電圧がなくなる度に一々交換しては手数がかかるので、自動的に充電されるようにしたものである。

単灯型の信号電球は、ワット数が少なく、電流も小さくて済むので、常時点灯している割合に寿命が長いが、使用時間は3,000時間と定めてある。使用前に昼夜定格電圧で点灯試験を行うこと、および使用中は端子電圧を定格電圧の0.8~0.9倍に調整しておくことは多灯式の場合と同じである。

機械式信号機にも外観が単灯型に似たものがある。これは腕木による現示を灯に置き変えたもので、操縦は腕木式と同じくしてこによって鉄索を引張り、めがねを動作させ現示するもので、機械色灯式信号機と称せられる。→色灯式信号機。(西沢 毅)

たんとうやく 担当役 日本国有鉄道法上の会計職員であって、総裁または支社長が通達する予算実施計画および債務負担行為計画にしたがい、認証役の認証を受け、工事の請負・物件の購入等の契約の締結その他経費支出の原因となる行為(この行為を国鉄では、**支出負担行為**という)を担当するほか、物件の売却、貸付等の契約をも担当する国鉄の会計機関をいう(日本国有鉄道会計規程第9・10条)。したがって担当役は、主として国鉄が国の特別会計時代における支出負担行為担当官に該当するものであるが、これよりも広い職域を有している。

国鉄においては広範、多岐にわたる経営管理の実をあげるため、内部予算制度を通じて鉄道管理局長その他の業務執行機関の経営活動を管理する手段として、総裁または支社長から、業務執行機関に対し、国会予算にもとづき策定した予算実施計画および債務負担行為計画という内部予算を通達し、業務執行機関は、工事の請負、物件の購入等の契約のほか経費支出の原因となる行為をする場合は、必ずこの通達された内部予算にしたがい、これを行うべきこととしている。すなわちこの内部予算は、対内・対外の別を問わない一種の契約予算であり、その統制方式は、支出の前提となる契約統制である。したがってこの統制は本来内部予算というわくの統制とともに質の統制も含むものである。この場合この業務執行機関を担当役とし、さらに担当役の予算執行の適正を期するため、認証役制度を設け、担当役の行う支出負担行為に対し、その認証を受けさせるという内部牽制(けんせい)制度が採用されている。しかしながらこの認証の対象は、その実効を期するため重点主義をとり、目下のところ、工事の外注費および物件の購入費に限定されている。

また内部予算は、昭和30年度以来、原則としてその運用上の単位を支社単位に切り換えたので、その通達方式も原則として支社長制度を活用する間接通達方式によっている。この担当役には、本社にあっては、経理局出納課長および資材局長、鉄道

管理局その他の地方機関にあっては、当該地方機関の長の職にある者が、部内規程により自動的になることとなっている。また、担当役の職務分掌機関として、制度上分任担当役を設けることができるようになってきている。この分任担当役には、内部規程上本社にあっては経理局出納課長の指定した者、本社付属機関にあっては、鉄道技術研究所長、中央教習所長、三島分教所長等、鉄道管理局にあっては局長の指定した各部長その他の者、地方自動車事務所関係にあっては自動車工場長、地方資材部関係にあっては資材事務所長および付属工場長、工場関係にあっては分工場長の職にある者があることとなっている。しかしながら、鉄道管理局における各部長が分任担当役となった場合は、目下のところ、その職務は単なる内部予算の差引整理およびそのは握といういわゆる予算管理の職務に止まり、対外的な契約の締結は、自己の名によることなく、局長名によるか、または所管の現業機関の長をして行わしめているのが実状である。したがって鉄道管理局においては、この分任の段階においては、予算の管理と契約の締結とは分化している。したがって国鉄では、この担当役の行う職務のうち、契約の締結・履行・解除および変更に関する職務の執行面のみについてみると、これを契約担当役といっている。

担当役はその内部予算の執行に伴う対外的な契約の締結という面からみれば、日本国有鉄道法上、総裁を代理するものとされている。

なお予算実施計画を資金的見地から補完するため策定された年間および4半期別資金振替計画が、主管の会計長から配分される関係上、担当役は、単に予算実施計画および債務負担行為計画にしたがうほか、この資金振替計画にもしたがって、支出負担行為を行わなければならない。

以上、国鉄においては経費の支出そのものと、経費支出の原因となる契約の締結その他の行為とを区別し、経費支出の原因となる支出負担行為に関しては、その責任機関として担当役を、経費の支出のものに関しては、その責任機関として会計長を設置して、それぞれの責任と権限とを明確にしている。

担当役および分任担当役は、国鉄にも準用される「予算執行職員等の責任に関する法律」上の予算執行職員に指定されており、その故意または重大な過失により ① 法令等に準拠せず ② 内部予算の定めるところにしたがわず ③ 予算実施計画および債務負担行為計画ならびに資金振替計画にしたがわないで支出負担行為をし、国鉄に損害を与えたときは、弁償の責に任じなければならない。(渡辺耕一)

たんどうく ブレーキ 単独ブレーキ 電車・自動車にはなく、機関車用の制動装置のみにあるブレーキ。単独ブレーキ弁のハンドルを操作することにより、機関車だけに制動をかけるもので空気溜から減圧弁をとった圧縮空気が、直接分配弁の作用ピストンを動かして、ブレーキシリンダを込めたり、ゆるめたりするのであり、つぎのような場合に使用する。

① 入換作業のとき ② 列車として運転中、列車速度調節の目的で機関車のみのブレーキを、ゆるめたり、かけ増したりする ③ 単機運転のとき。

また緩制動・急制動・運転・ゆるめの4位置があり、それぞれその目的にしたがって使われる。(塚越義寿)

ダンネージ (英) dunnage 船積貨物の荷敷に用いる要具をダンネージといい、その使用目的はつぎのとおりである。

1 貨物を船艙(そう)の底床および側壁から離して、漏水・刺し等による水濡・油濡を防止し、また貨物あるいは艙内空気よりの発汗による濡損・汚損を防止する。